

令和2年度第26回広島市立広島特別支援学校高等部卒業証書授与式
校長式辞

皆さん御存知ですか。高等部の農園の中に被爆桜が育っていることを。平成30年2月、安田女子高等学校からいただいた被爆桜は、育つことができませんでした。しかし、昨年、安田女子高等学校から「今度こそ元気に育って。」と、被爆桜の苗木が1本、本校に届きました。冬の寒さに負けず、その苗木にいくつかのつぼみがつきました。卒業生の皆さんを祝うかのようにつぼみが膨らんでいます。

高等部卒業生91名の皆さん、御卒業おめでとうございます。4月から社会に行かれる皆さん。今はつぼみですが、4月には、立派な花を咲かせて社会で活躍してください。社会に貢献してください。高等部3年間、本校で学ばれ、育てて来られた心と体です。自信と誇りをもって歩いてください。応援しています。

さて、先程皆さんがしっかりと受け取られた卒業証書は、平和公園にある原爆の子の像に日本はもとより世界から来られた方々が捧げられた折鶴の再生紙でできています。また、この卒業証書は、皆さんの先輩が働いておられる事業所で制作されています。先輩たちも卒業を迎えられた皆さんをお祝いして下さっています。

本校での思い出が一杯詰まっているこの卒業証書は、卒業生の皆さん一人一人にとって世界で一枚しかない大切なものです。つらい時、しんどい時、この卒業証書を見てください。勇気が湧いてくることでしょう。

皆さんが高等部第3学年になられた令和2年度は、これまで経験したことがないような大変な年でした。新型コロナウイルス感染症の広がりやで休校が長く続きました。楽しみにしていた体育祭が中止。皆さんの活躍する姿を見なかった文化祭も中止せざるを得ませんでした。そのような中、体育祭で披露する予定だった「南中ソーラン」は、オンラインで本校の保護者の方々や、中国・四国地区のPTAの方々にも観ていただきました。大きな拍手をいただきました。職業コースの皆さんが朝早くから練習してきた集団行動とフラッグ演技は、ひかりのひろばで披露しました。小・中・高等部の児童生徒から大きな拍手をいただきました。参観日を通しての作業製品・農産物の販売、「でじマーケット」も開店しました。たくさん売れて達成感を味わいました。皆さんの心がこもった作業製品は、今でも大切に使われていることでしょう。

本校に入学したころは、不安で一杯だった。登校、下校の仕方もこれまでとは違っていた。通学に時間がかかるため朝早くから家を出ている生徒もいました。暑い日も、寒い日もあった。風が強い日も、雨が強く降り注ぐ日もあった。学校に行けば、友達と会える、楽しいことがある、チャレンジすることがある。「本校に来てよかった。」「友達がたくさんできた。」「楽しいことが一杯あった。」と答えてくれる皆さんの笑顔は、いつまでも忘れません。

保護者の皆様、施設の皆様、お子様の御卒業を心からお喜び申し上げます。おめでとうございます。ここまでの子育ての御労苦に敬意を表しますとともに、お子様の教育に、いつも温かな御理解と御協力を賜りましたことに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。皆様の今後ますますの御多幸を御祈念申し上げます。

卒業生の皆さんに最後に贈る言葉。「明るく 元気に たくましく」。決してあきらめないで歩いてください。これから生きる道が、豊かで光続けていきますように。

令和3年3月9日

広島市立広島特別支援学校校長 中尾秀行